

自転車利用実態定点調査報告

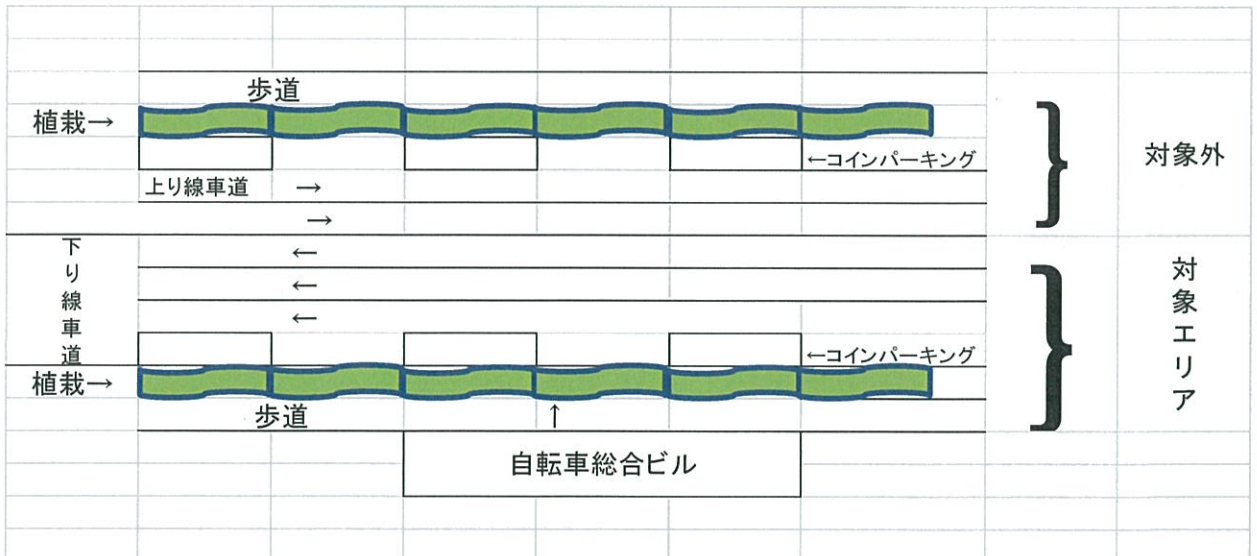
平成27年11月

(一財)日本自転車普及協会

調査目的 自転車は車道左側走行が原則であるが、実際の自転車の走行状況の実態を調査し、その状況の問題点を探り一般に公開することで、望ましい走行空間の再考資料としていただくことを目的に行う。

調査日時 平成27年 10月 13日～30日
[午前]9:00～10:00、[午後]13:30～14:30

- 調査場所** ・ 自転車総合ビル前（目黒駅方面に 50m 程緩い下り坂）
- 概要** ・ 調査対象(車道線:目黒通り下り 3車線[内側 1車線駐車帯])
(歩道:幅員 5m・植栽 1.5m～2mのため、実質通行幅 3m～3.5m)
- ・ 調査対象外(車道線:目黒通り上り 2車線[内側 1車線駐車帯]及び上り歩道)



調査事項 走行空間調査(車道、歩道)と危険走行調査

自転車利用実態定点調査票

| | 走行空間 | | | | 乗種 | | 雨天 | | 危険運転行為 | | | | | | | |
|----|------|------|------|----|-----|----|----|----|--------|------|----------|------|------|---------|------|-----|
| | 車道左側 | 車道右側 | 車道中央 | 歩道 | 子乗せ | 後部 | 傘 | 白旗 | 携帯 | 速度超過 | スピード出しすぎ | 片手運転 | 立ち漕ぎ | ハンドルに荷物 | 後部座席 | その他 |
| 1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 14 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 18 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 19 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 20 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 21 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 22 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 23 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 24 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 25 | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | |
|-------|----|---|---|---|-----|
| 調査日時： | 平成 | 年 | 月 | 日 | () |
| 天気： | | | | | 気温： |
| 調査時間： | | | ～ | | |

<調査票>

[コメント]

◎走行空間においては、車道左側走行率は、14～35%と多岐にわたるが、平均すると21%程度である。

依然、歩道を通行する自転車が多く、今回も、全体の8割程度を占めている。同一地点(個別データ)においても、午前と午後で異なったデータとなっている。

◎危険運転行為(違反行為を含む)は、肩に荷物(138件)・ハンドルに荷物(94件)・片手運転(39件/内6件は、携帯電話を使用しながらの運転)・子乗せ後部席に荷物(*1)(34件)・立ち漕ぎ(33件)・脇見運転(28件)・ジグザグ運転(17件)・過積載(14件)・歩道上でのスピードの出しすぎ(12件)等の順となっている。

*1 子乗せ後部席に荷物を掛ける事は、もし、気が付かない間に落下して、歩行者や自転車等に迷惑(通行障害・事故起因等)を及ぼしかねないので、基本、止めた方が望ましい。

【総合】

今回は、平成27年度第7回目の調査となり、4～10月分の7ヵ月期間で様々な点で比較してみた。

- ・利用者別 今回も、午前が午後の利用者を上回った。

- ・車道左側走行率 今回(21.2%)は、7ヵ月間中では上位で、10月・4月(18.9%)・5月及び6月(17.9%)・7月(17.3%)・8月(15.9%)・9月(13.6%)の順である。
 なお、午前のデータ(22.0%)も、7ヵ月間中では上位で、10月・4月及び6月(20.6%)・5月(19%)・7月(18.4%)・8月(14.7%)・9月(12.5%)の順である。
 また、午後のデータ(19.9%)も、7ヵ月間中では上位で、10月・8月(17.5%)・4月及び5月(16.6%)・7月(16.1%)・9月(15.6%)・6月(14.8%)の順である。

- ・子乗せ自転車 今回(23.4%)は、7ヵ月間中では上位で、10月・5月(20%)・4月(18.4%)・7月(17.5%)・6月(16.9%)・9月(15.7%)・8月(13.9%)の順である。

- ・電動自転車 今回(39.0%)は、7ヵ月間中では上位で、10月・5月(27.1%)・4月(26.5%)・7月(25.7%)・9月(25.6%)・6月(23.9%)・8月(23.5%)の順である。

- ・危険運転行為
(違反行為を含む) 上位3件別では、今回は、[肩に荷物・ハンドルに荷物・片手運転]の順であり、期間中の共通項目は、肩に荷物・ハンドルに荷物である。
 一方、下位3件別では、今回は、[ジグザグ運転・過積載・歩道上でのスピードの出しすぎ]の順であり、期間中の共通項目は、該当なし。
 なお、今回も、肩に荷物・ハンドルに荷物だけで、全体(427件)の5割強(232件)を占める形となった。
 (危険防止の観点から籠の装備や荷台に装着等の必要性がある)

今回は、新たな危険運転行為として、ダンボール横抱え運転・背負いバッグにヘルメット取り付け・ペダルから足外し走行の計3件が発生した。

何れも事故を引き起こし兼ねないので、止めるべき行為である。

本年6月に道路交通法が改正され自転車利用者にとっては、交通ルール・マナー等の遵守が徹底された経緯にも拘わらず、改正後のデータについては、減少傾向であったが、今月は、順調に回復している。

施行後、5ヶ月も経過して浸透してきたのか？(秋の交通安全運動の影響か?)

更に今後の状況に期待したいものである。

しかし、正反対に雨天時のデータは、効果が悪化している。

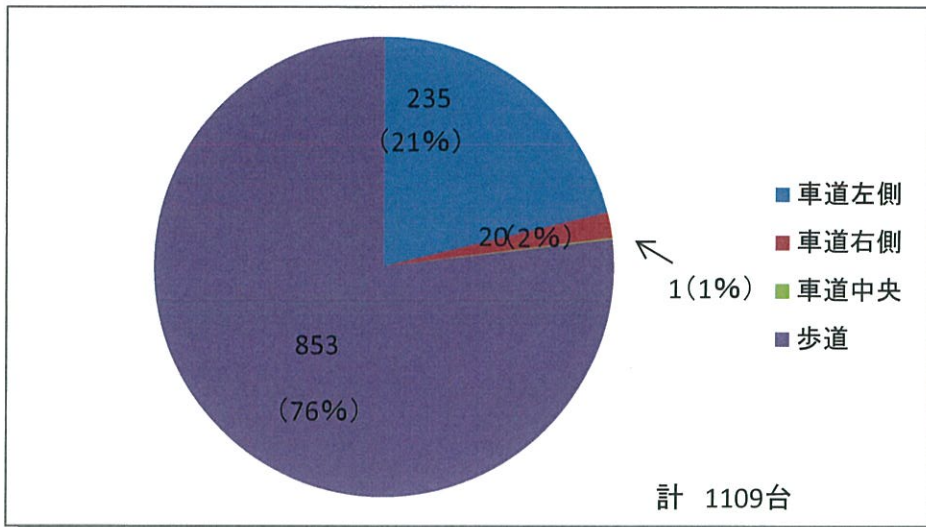
合羽着用者(計11人)は、傘さし運転者(計5人)の2.2倍であった

調査期間が、僅か1日間であったため、データとして乏しい状況であるが。

なお、6月のデータでは、道路交通法が改正された初月でもあり、一部報道で合羽の購買額が増加した経緯もあり、調査期間4日間で、合羽着用者(計25人)は、傘さし運転者(計5人)の5倍であった。

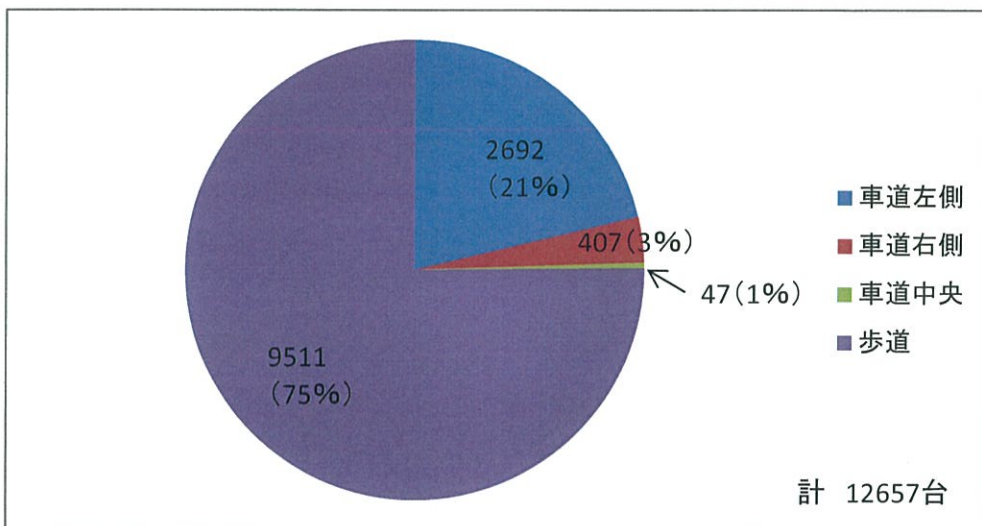
因みに、先月9月も合羽着用者(計74人)は、傘さし運転者(計15人)の約5倍と好調を持続していた。

再び、今後の状況に期待したいものである。

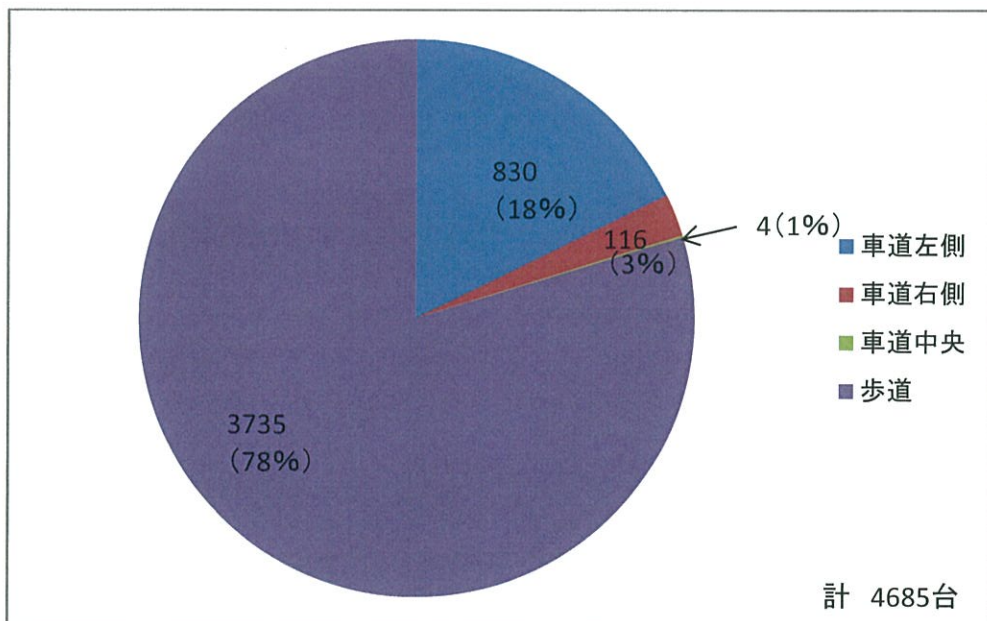


走行空間 調査期間 10/13~30

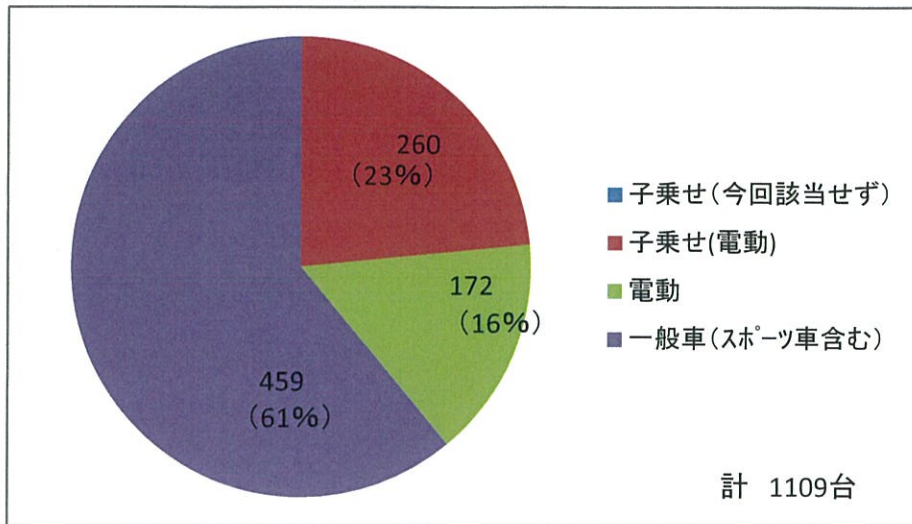
* 参考)



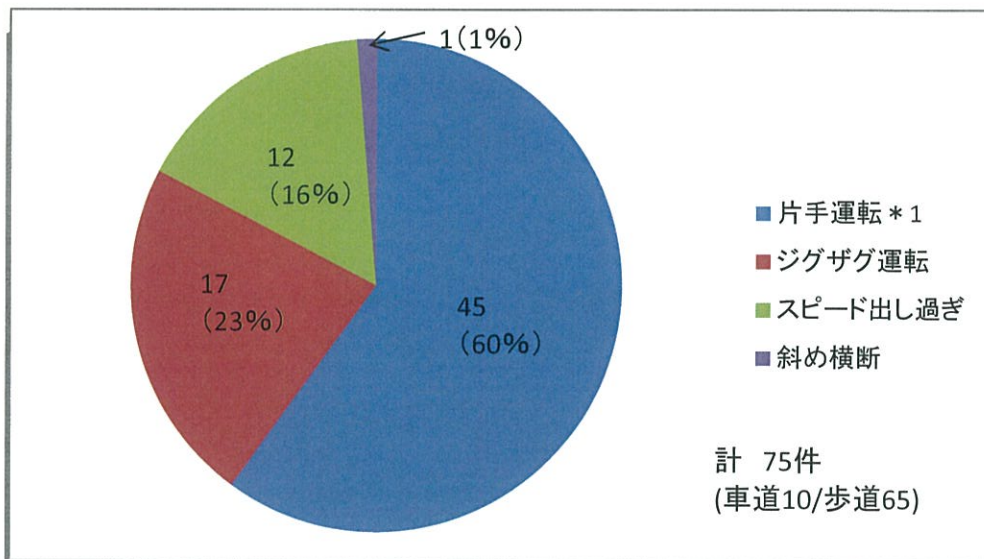
走行空間 調査期間 26.7~27.5 (道路交通法改正前)



走行空間 調査期間 27.6~27.10 (道路交通法改正後)

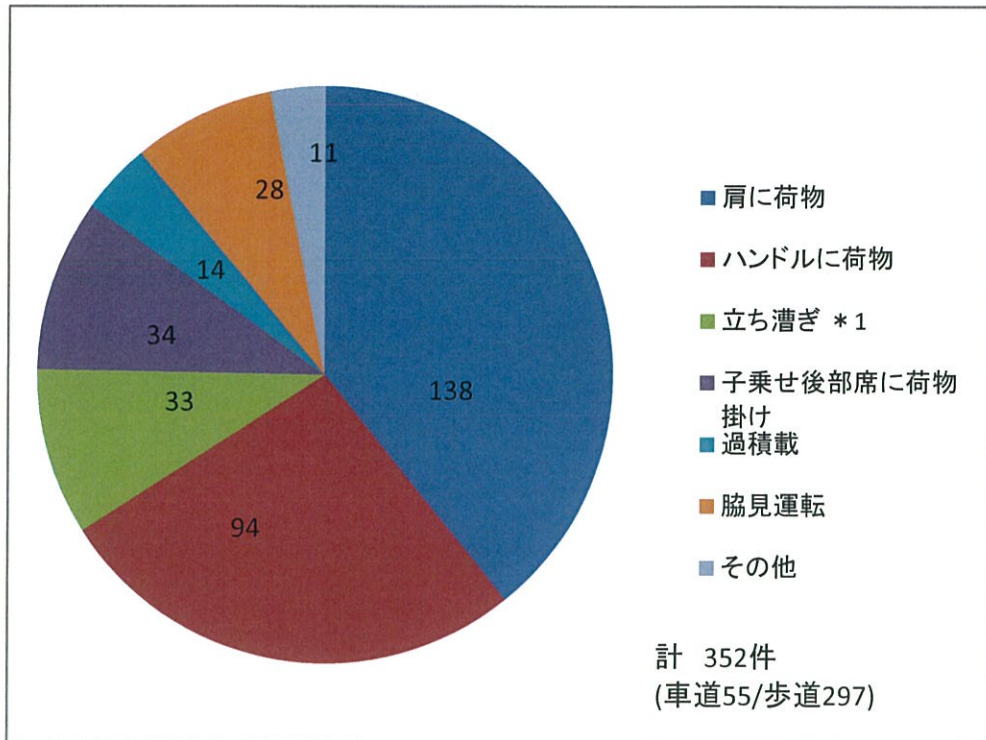


車種 調査期間 10/13~30



違反運転行為 調査期間 10/13~30

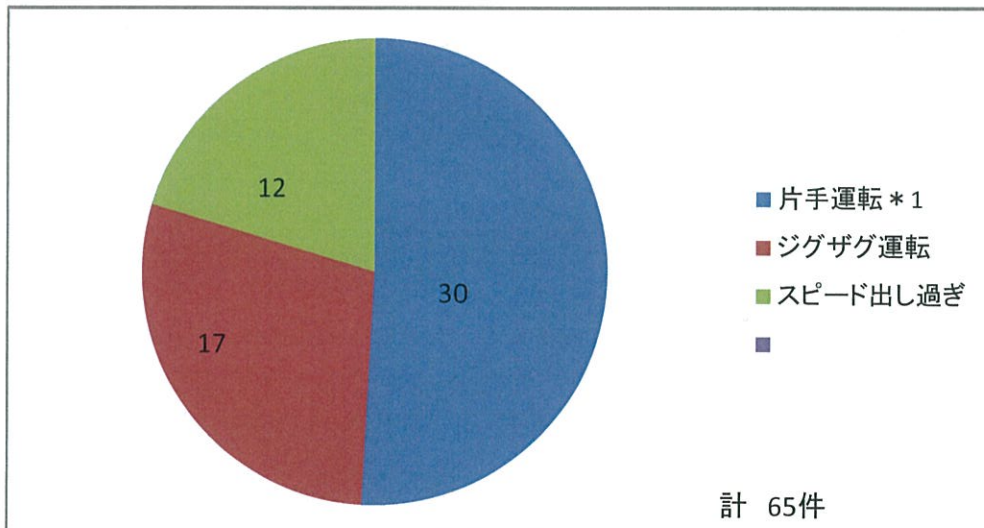
*1 内6件 携帯電話を使用中の運転



危険運転行為

調査期間 10/13～30

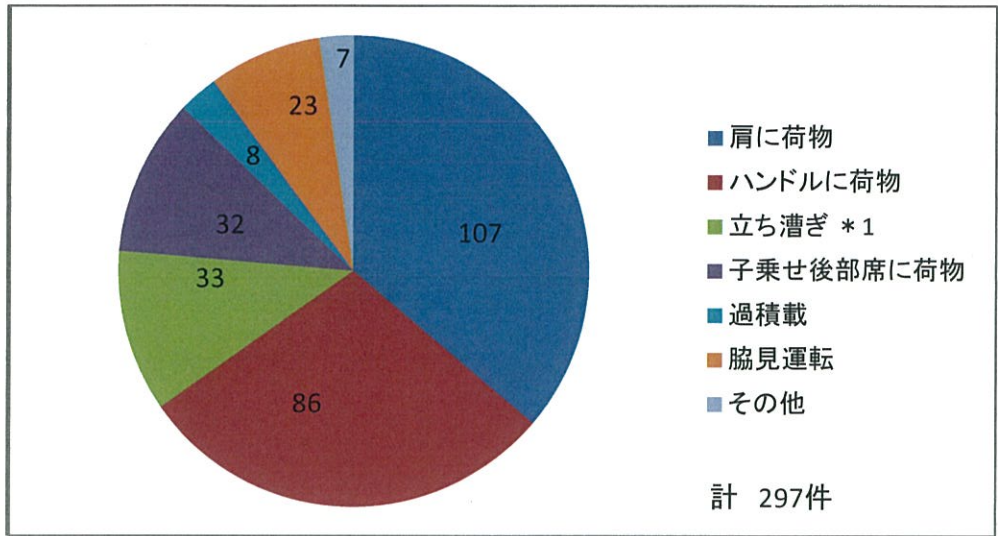
* 1 比率内訳: 上り坂26・下り坂7



違反運転行為
(歩道上)

調査期間 10/13～30

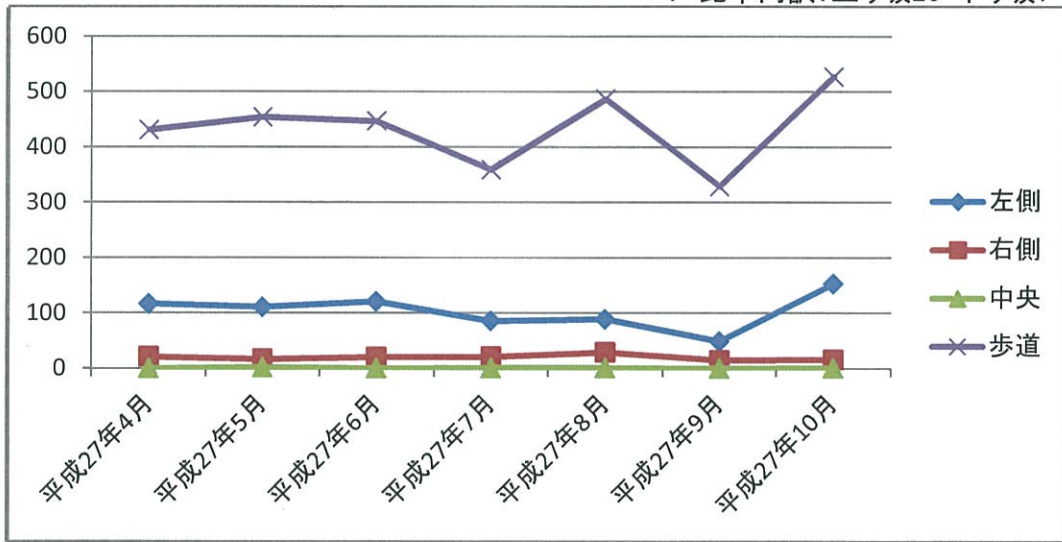
* 1 内4件 携帯電話を使用中の運転



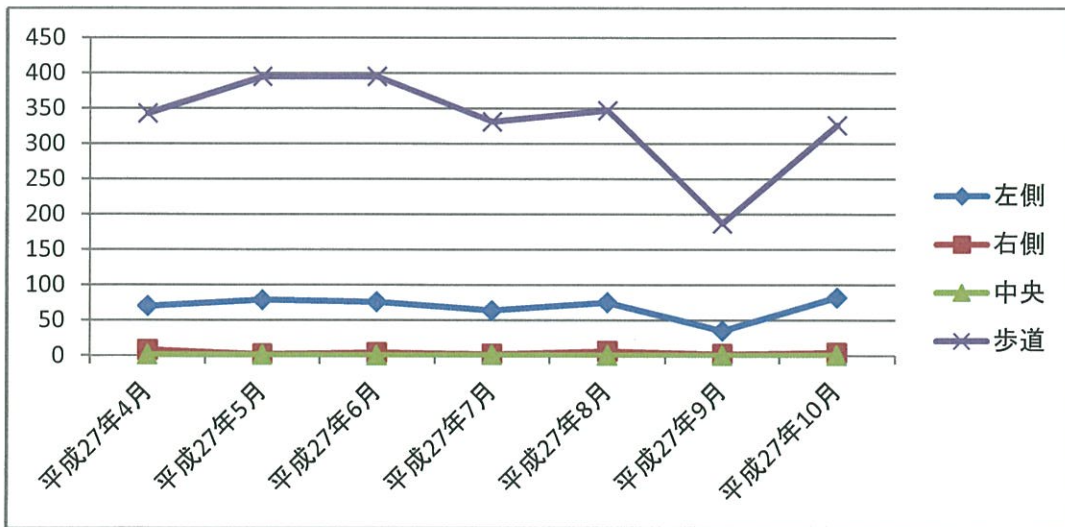
危険運転行為
(歩道上)

調査期間 10/13~30

* 1 比率内訳: 上り坂26・下り坂7



走行空間 午前 (台数)



走行空間 午後 (台数)